

福祉教育常任委員会

閉会中の調査報告

日 時：平成 30 年 7 月 18 日(水) 午前 8 時 58 分～11 時 58 分

出席者：立入委員長、藤川副委員長、森 委員、加藤委員、細川委員、奥村委員

○事務事業評価について（事前論点勉強会）

[石部小学校グランド芝生化事業]

説明員：教育部長、教育部次長、学校教育課長、学校教育課庶務係長

現地調査をおこないました。

・事業の目的として、子どもたちがのびのびと駆け回ることによって生まれる豊かな心の醸成と運動に親しむことを目的とし、地域住民と協働で芝生を育てていくことで、これまで以上に関心が注がれ、子どもたちの成長を学校とともに見守っていく意識の醸成につながるとしています。

・平成 29 年 6 月 17 日、石部を中心とした地域の住民 300 人による植え付け作業が行われたことの報告を受けました。

・芝生の維持管理は、「石部小学校校庭の芝生を育てる会」と委託契約しています。

・会の構成メンバーは、石部小学校運営協議会、石部学区まちづくり協議会、石部小学校 P T A、スポーツ少年団の 4 団体。業務内容は週 1 回から 2 回の芝刈り作業、月に一度の肥料散布作業、芝刈り機などのメンテナンスであることの説明を受けました。

・年間 60 万円の委託契約の内訳は、冬芝の種約 28 万円、保険約 5 万円、肥料約 6.5 万円、ガソリン代約 4 万円、芝刈り機メンテナンス約 4 万円などであるとの報告を受けました。



[安心応援ハウス事業]

説明員：健康福祉部長、健康福祉部次長、高齢福祉課長

地域の高齢者が気軽に集える場所を拠点として、寝たきり防止・閉じこもり防止・認知症予防・地域のふれあい・虚弱な高齢者の介護予防・健康推進を目的とした事業であることの報告を受けました。

- ・今年度から開催回数に応じた補助金体制が採られているが、事業の目的・内容の捉え方に格差があり、各区で捉え方に格差があり混乱しているのではないか。
- ・1回の利用者数に条件を設けることは、事業目的を見失うことになりかねない。
- ・それぞれの地域の高齢者対策の取り組みの環境が異なることをふまえ、単にお金を撒いて与えるような補助金とならないよう内容を精査し、その他の補助金との整合性も検討すべき。
- ・選定方法は回数や人数を基準とするのではなく、趣旨に沿った内容を考慮すべきではないか。などの意見が出されました。

日 時：平成 30 年 8 月 6 日(水) 午前 9 時 26 分～11 時 03 分

出席者：立入委員長、藤川副委員長、森 委員、加藤委員、細川委員、奥村委員

○事務事業評価について（事業評価会）

[石部小学校グランド芝生化事業]

各委員から提出されたチェックシートに基づき、審査を行う。

石部小学校近隣民家へのグランドの砂埃対策として、グランドの芝生化が計画されました。当初は不安もあったと聞きますが、29年9月学校関係者や地域住民の協力で見事に芝生化が完成されました。子どもたちが休み時間にグランドで遊んだり、外に出ることが多くなったと聞きました。事業の継続は単に芝生の管理業務だけに留まらず地域住民と学校との協働をさらに拡充されることに期待するものです。「石部小学校校庭の芝生を育てる会」が石部小学校運営協議会、石部学区まちづくり協議会、石部小学校PTA、スポーツ少年団で組織され、年間60万円の委託契約となっています。各団体の構成員が当番制で芝刈り機の維持管理に従事していただいているが、学校施設の維持管理を地元団体のボランティアにそのすべてを依存することには検討の余地があると思います。市も今後の課題として、委託内容を見直し、ボランティアとして継続可能な内容を検討するとともに、

市の責任で維持管理体制を検討すべきではないか。委託内容については、あくまでも市がその責任を持つこと。などの意見が出されました。

[安心応援ハウス事業]

事業の目的が、高齢者の心身の健康を維持し、寝たきりや閉じこもりを予防する。高齢者が地域で安心して暮らせることを目指しています。市内の各区では、これまで、事業の目的、内容の捉え方がまちまちであり、今年度から開催回数に応じた補助金体制が採られたことから、各区では混乱があります。事業の目的、内容について、今一度事業の趣旨を理解してもらえるようにすべきだと思う。実施場所については広域ではなく狭域で、できれば各区において数か所の拠点設置が求められます。新設の事業に「100歳体操」を含めるとのことですが、すでに実施されているサロンとの公平性にかけることから慎重な対応が求められます。実施に当たり対象者を年齢で制限することや1回の利用者数に条件を設けることは、事業目的を見失うことにもなりかねない。選定方法は回数や人員を基準とするのではなく、趣旨に沿った内容であれば、厳格なものとするのではなく、緩やかな内容、弾力的に運用すべきではないか。など意見が出された。

○所管事務調査について

[雨山公園施設等の現状と今後のあり方について]

4月16日の現地調査をふまえ、各委員からの意見を求めた。各施設の今後のあり方について、委員長がまとめ次回の委員会で完成させ、教育部への報告を行うことを確認しました。

[議会報告での意見・要望について]

委員会对応として出された意見「通学路問題」については、委員会の重要議案として、今後の委員会で具体的に協議することを確認しました。